

法語カレンダーと施本

法語カレンダーについて

親鸞聖人によって顕らかにされたお念仏の教えは、多くの人びとによって伝えられ、日本だけではなく世界中に広がっています。その浄土真宗のみ教えを、主として現在に伝えるのが真宗十派といわれる、浄土真宗本願寺派（本山 西本願寺）、真宗大谷派（東本願寺）、真宗高田派（専修寺）、真宗佛光寺派（佛光寺）、真宗興正派（興正寺）、真宗木辺派（錦織寺）、真宗出雲路派（毫根寺）、真宗誠照寺派（誠照寺）、真宗三門徒派（専修寺）、真宗山元派（證誠寺）の宗派です。

これらの宗派は、昭和四十四（一九六九）年、不安と混乱の現代社会にあつて、浄土真宗の教えを広くお伝えするために、浄土教団連合を組織しました。以来、協同してさまざまな活動に取り組んでいます。その一つが、昭和四十八（一九七三）年から続く、法語カレンダーの発行です。

令和二（二〇二〇）年の法語カレンダーのテーマは「私の歩み」です。

近年、宗祖のご著書の中から、浄土真宗の教えを皆さまにお届けしています。真宗教団連合結成五十周年を令和二（二〇二〇）年に迎え、その歩みを振り返る意味もこめて、これまで掲載した法語の中から、お念仏を称え、人生を生きぬかれた先師の言葉を選定いたしました。

日々の生活の中で味わいながら、共にお念仏を申し歩んでまいりましょう。

月	法 語	掲載年
表 紙	悲しみの 深さのなかに 真のよこびがある	瓜生 津隆真 2001
1	人も草木もまも 同じものは一つもない おなじでなくてみな光る	榎本 栄一 1988
2	生のみが 我らにあらず 死もまた 我らなり	清沢 満之 1989
3	本当のものが わからないと 本当でないものを 本当にする	安田 理深 1990
4	お念仏というのは つまり自分が 自分に対話する道	曾我 豊深 1993
5	いだからでありとも 知らずおろかにも われ反抗す 大いなるみ手に	九篠 武子 1993
6	人が何よりも 執着せんとするものが 自己である	毎田 周一 1994
7	人間は死を抱いて 生まれ 死をかかえて 成長する	信園 淳 1994
8	念仏もうすところに 立ち上がっていく力が あたえられる	西元 宗助 2013
9	自分のあり方に 痛みを感じるときに 人の痛みを 心が開かれる	宮城 顕 2003
10	念仏とは 自己を 発見することである	金子 大榮 2013
11	拝まない者も おがまれている 拝まないときも おがまれている	東井 義雄 2014
12	智慧・慈悲のはたらき そのものが 「仏」なのです	坂東 性純 2015

師走に入り、少しずつ寒が厳しくなってきました。秋参り（家庭報恩講）や恩講の時には暖かさに恵まれ無事に終えることができました。

当山の報恩講を終えるといよいよ令和二年に向かつて準備を始めることとなります。今年も秋参りと恩講のご縁で各家庭のお仏壇にお参りし、明年の法語カレンダーと報恩講の施本をお届けしました。施本は当山の報恩講までに読んでいただきたいものです。新年を迎える前にお仏壇の大掃除（金箔にさわらないようにきれいなタオルでふく、香炉の中の掃除をする、打敷を覆設する、供物を供える、仏花を生花で活けるなど）をしてください。

掃除が終わったら仏間の適当なところに法語カレンダーをかけて、明年、月ごとにめぐりながら愛用してください。法味あふれる言葉を毎月読んでいただきたいと思います。

最後に、法語カレンダー裏面に「法語カレンダー」と題して上記コラムが掲載されています。裏面は見る事がないかもと思ひ、老婆心から本頁に載せました。また、一年間寺報にお付き合いくださり、ありがとうございます。

法語の世界

《原文》

蓮如上人仰せられ候ふ。御身一生涯 御沙汰候ふこと、みな仏法にて、御方便・御調法候ひて、人に信を御とらせあべき御ことわりにて候ふよし仰せられ候ふと云々。

『蓮如上人御一代記聞書』二百四十三

《現代語訳》

蓮如上人は、「わたしが生涯の間 行ってきたことは、すべて仏法のことであり、いろいろな方法を用い、手だてを尽くして人々に信心を得させるためにしてきたことである」と仰せになりました。

《現代語訳》

調法……たくみなたてだて。

二〇一九(令和元)年 金光寺報恩講のお知らせ

日時
十二月十五日 午前十時～ 日中法要(上下参り)
(九区・十三区・十四区地区)
午後七時～ 速夜法要(お番)
十二月十六日 午前十時～ 日中法要(中央参り)
(十区・十一区・十二区地区)

講師 福岡教区 西嘉穂組 長明寺住職
浄土真宗本願寺派布教使
花田 照夫 師

その他

お参りの際は、門徒式章、念珠と聖典（お経本）をご持参ください。

報恩講期間中の日中法要（午前十時からの法要）にお仕事等でお参りできない方は、十二月十五日午後七時からの速夜法要にお参りください。

報恩講は、親鸞聖人のお命日を縁として、浄土真宗の門信徒が手継ぎ寺にそろって参詣し、阿弥陀さまのみ教えに出遇わさせていただく、**浄土真宗では一番重要な法要・法座です。**

是非、ご勝縁をお結びください。